

令和6年度(2024年度)

東京富士大学大学院 経営学研究科

一般入学試験 I 期

論 文

<注意>

1. この冊子には、問題文(2枚)が綴じてあります。
2. 試験開始の合図があるまで問題用紙を開いてはいけません。
3. 問題用紙・解答用紙の表紙にある受験番号、氏名欄を必ず記入下さい。
4. 解答は「横書き」「日本語」で記入のこと。
5. 原則として、この冊子は交換しませんので、注意して扱って下さい。
6. 試験終了後、この冊子と解答用紙の両方を回収します。

| 受験番号 | 氏名 |
|------|----|
|      |    |

次の問題 1 から 8 の中から 2 問を選択し所定の用紙(400 字)に解答しなさい。  
また、選択した問題番号を○で囲みなさい。

問題 1. 日本の会社法によれば会社には合名会社、合資会社、合同会社、株式会社の 4 つの種類（企業形態）がある。

組織の規模を拡大するには、この上記 4 つの種類の中で株式会社が一番望ましい企業形態と考えられている。なぜ、そのように考えられるのか、合名会社および合資会社と株式会社との比較から、その理由について簡潔に説明しなさい。なお、説明の際には、会社の債務に対する出資者責任の違いについて必ず触れること。

問題 2. 企業の多角化戦略のメリットとデメリットを説明してください。

問題 3. 革新的な新製品や新サービスが登場し、マスコミなどで反響があり、すぐに購入する消費者がいる。しかし、その後、市場に浸透するまでにかなり時間がかかることがよくある。このように新しい製品・サービスがどのように市場に浸透していくかを説明してください。

問題 4. 異常気象やそれに伴う大災害の頻発によって地球温暖化への危機感が高まり、迅速な対応が求められています。企業においては脱炭素への取り組みが急務となっていますが、企業は具体的にどのようなことを行なっていかなければならないか説明してください。

問題5. 所得税法において10種類の所得区分が設けられている理由を説明しなさい.

問題6. 日本の法人税法では、課税所得の計算において、確定決算主義が採用されているが、確定決算主義の内容は、3つの項目に整理されると言われている.

以下の用語等を用いて、確定決算主義の内容を説明してください.

問題7. わが国の現行会計における税効果会計の目的を述べるとともに、その方法として資産負債法が採用されている理由を説明しなさい. なお、解答にあたっては、一時差異、税率、繰延法の3つの用語にも触れること. (連結財務諸表上の未実現利益に係る一時差異に対する処理方法には触れなくて良い.)

問題8. 監査の目的について述べたうえで、監査に際して監査人が従うべき8つの「一般基準」について箇条書きで答えなさい.